

令和6年9月議会において

検討を約した事項

（令和8年7月末現在）

令和6年9月議会において検討を約した事項

担当部局
関係部局

1. 知事が検討を約した事項(5項目)

- | | | |
|--|---------|------|
| (1) 「大阪府安全なまちづくり条例」の改正検討(振込限度額の引下げ) | 危機管理室 | (終了) |
| (2) ワンストップ支援センター機能の維持・継続 | 危機管理室 | (終了) |
| (3) 基礎自治機能の充実強化について | 総務部 | |
| (4) 御堂筋イルミネーションの点灯時間延長について(24時間楽しめる都市・大阪の実現に向けて) | 府民文化部 | (終了) |
| (5) 万博のレガシーである「静けさの森」の残置について | 大阪都市計画局 | |

2. 知事が国への要望を約した事項(1項目)

- | | | |
|----------------|---------|------|
| (1) 米の流通不足について | 環境農林水産部 | (終了) |
|----------------|---------|------|

令和6年9月議会において知事が検討を約した事項

番号	質問項目	検討を約した内容要旨	対応状況（R8.7月末時点）	検討期限（予定）	質問の種類（会派）	担当部局 関係部局
3	基礎自治機能の充実強化について	市町村における、さらなる行財政改革や広域連携、自主的な合併の取組について、府として、インセンティブとなる効果的な支援策を検討していく。	令和7年3月、基礎自治機能の充実・強化に関する施策を総合的に推進するための基本方針を策定した。 この基本方針を踏まえ、令和7年度から、より踏み込んだ将来のあり方や人材確保等の課題解決に向けて取り組む市町村を検討・議論の段階から支援する市町村振興補助金（基礎自治機能充実強化推進分）や市町村の公共施設の最適配置の取組を支援するための市町村施設整備資金貸付金（特別枠）の拡充など、支援の充実に取り組んでいる。		代表質問（維新）	総務部
5	万博のレガシーである「静けさの森」の残置について	令和6年度内に、大阪府市として「夢洲第2期区域のマスタープラン」を策定することとしており、この中で「静けさの森」の残置についても、その実現可能性や手法等を含め検討していく。	令和7年12月から令和8年6月にかけて開催された政府の「2025年日本国際博覧会成果検証委員会」において、レガシー展開の方向性や剰余金の活用方針を含む具体的方策が取りまとめられたことを踏まえ、令和8年6月に「夢洲第2期区域マスタープランVer. 3.0」を策定した。 同マスタープランを踏まえ、令和8年7月に開発事業者募集を開始しており、開発事業者に対し、静けさの森の樹木を利活用した、まちづくりと一体となった緑地等の整備の提案を求めている。 今後、令和9年2月には、開発事業予定者を決定する予定。	令和6年度内	一般質問（維新）	大阪都市計画局